

# 投票棄権理由は、「適切な候補者がいなかった」が約3割

～平成26年12月執行衆議院議員選挙に関する世論調査の概要について～

## 実施の対象と概要

- ・26年12月14日執行衆議院議員選挙
- ・回答者数：1,827人（対象3,000人） ・個別面接聴取法（2月13日～3月1日）

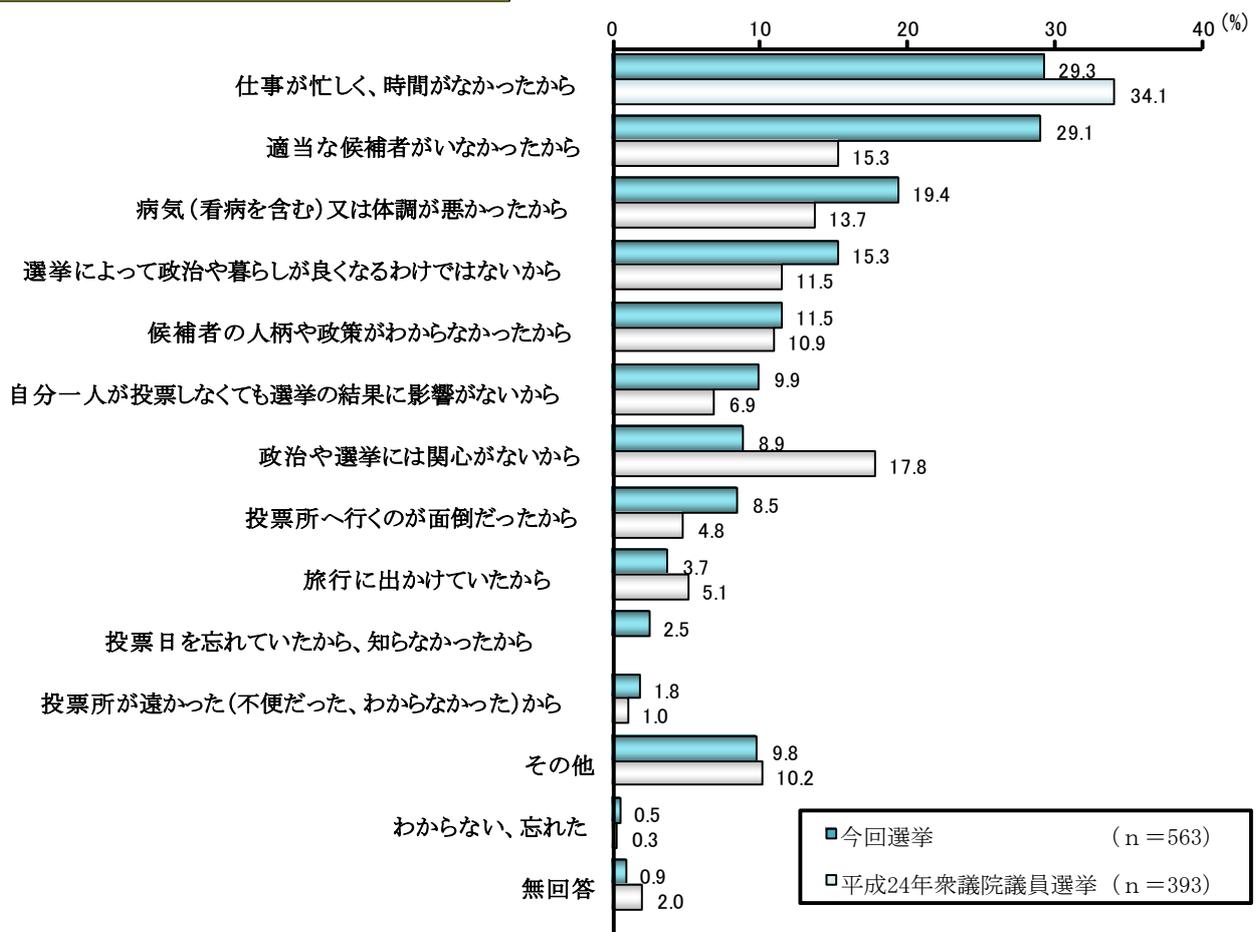


## 1 投票棄権理由は、「仕事が忙しく、時間がなかったから」と「適切な候補者がいなかったから」が約3割

- ・「投票しなかった」と回答した人に、棄権した理由を聞いたところ、「仕事が忙しく、時間がなかったから」（29.3%）と「適切な候補者がいなかったから」（29.1%）が約3割で高くなっている。
- ・前回平成24年12月衆議院議員選挙の調査結果と比較すると、「適切な候補者がいなかったから」が13.8ポイント増加している。

### 棄権した理由

（平成24年衆議院議員選挙との比較）

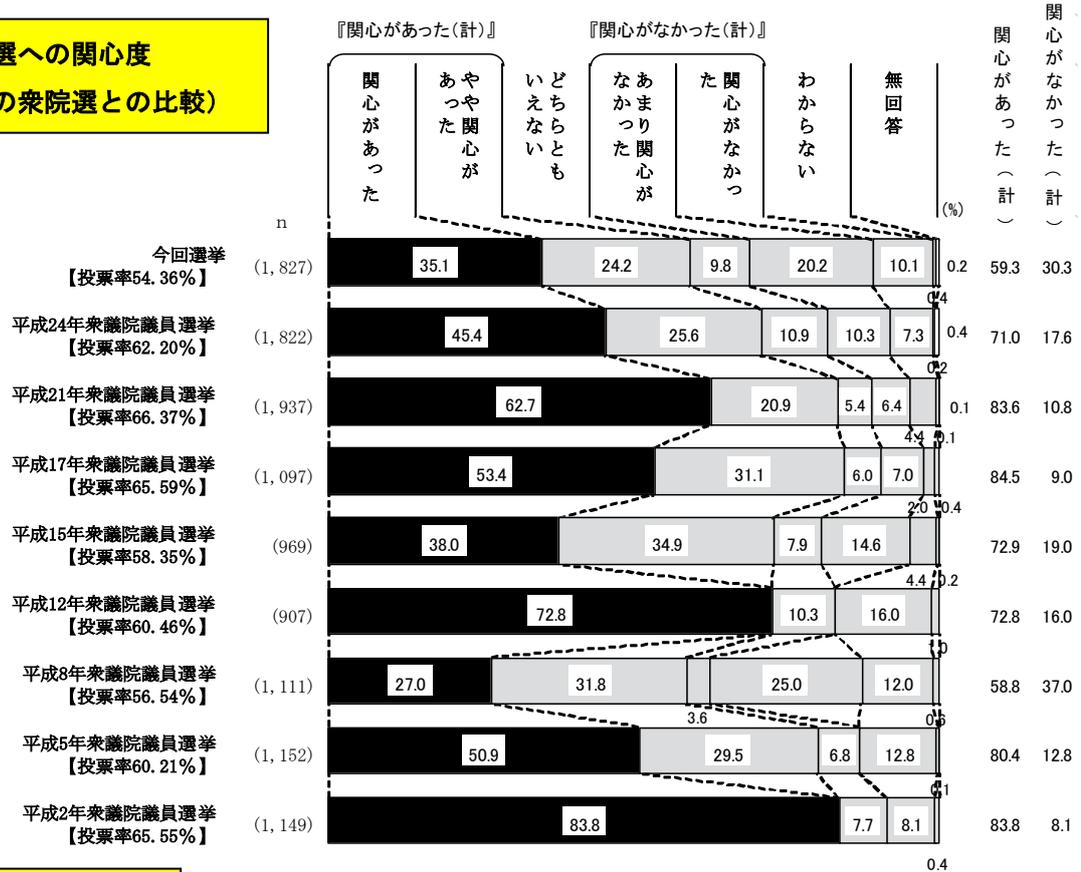


問い合わせ先  
選挙管理委員会事務局 選挙課  
電話 03 - 5320 - 6913（直通）

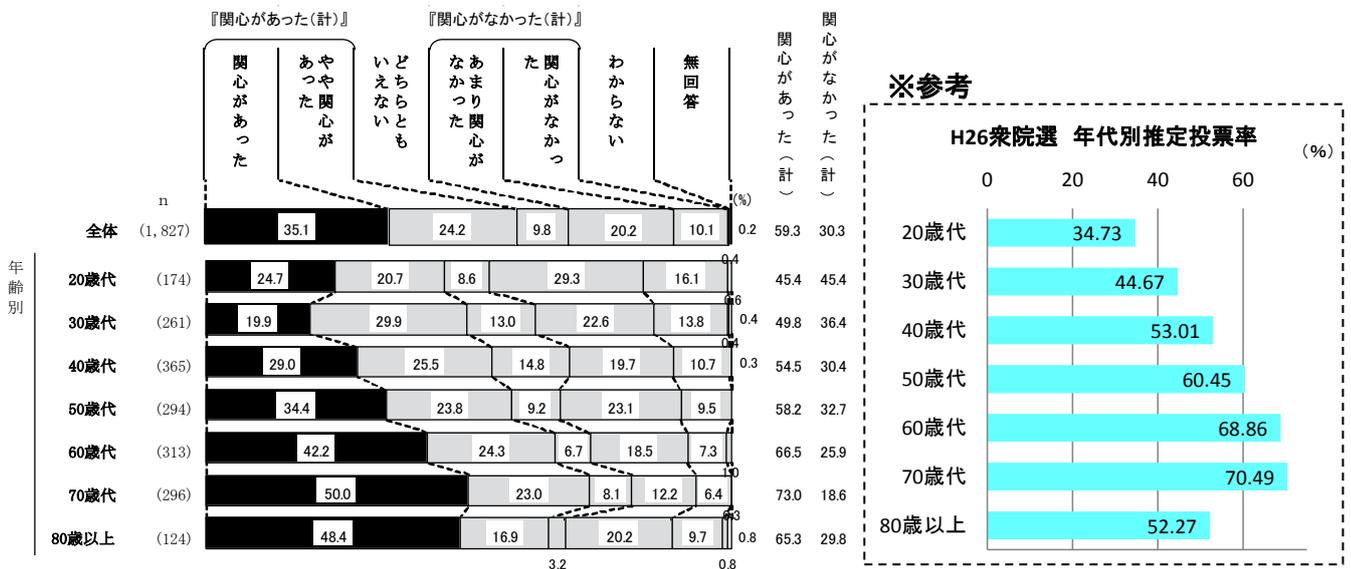
## 2 選挙への関心度が、調査開始以来最低だった平成8年に次いで2番目に低い関心度

- ・「関心があった」・「やや関心があった」は59.3%で、調査開始以来最低だった平成8年に次いで**2番目に低い**。
- ・「関心がなかった」・「あまり関心がなかった」は30.3%で、調査開始以来最高だった平成8年に次いで**2番目に高い**。
- ・今回選挙の投票率は54.36%で、昭和54年（53.19%）に次いで**2番目に低い投票率**。
- ・年代別にみると、20歳代の「関心があった（計）」が45.4%、「関心がなかった（計）」が45.4%、と各年代別で最も関心度が低いことを示した（平成24年衆院選では、20歳代は「関心があった（計）」が50.3%、「関心がなかった（計）」が32.5%）。
- ・各年代の関心度と各年代の投票率は同様の傾向がある。

### 衆院選への関心度 （平成執行の衆院選との比較）



### 衆院選への関心度 （年齢別）



### 3 40歳代の投票棄権理由は、「適切な候補者がいなかったから」が1位

・衆院選における40歳代の投票率が、都で初めて平均投票率を下回った。

40歳代の投票棄権理由は、投票率が比較的高い選挙では、「仕事が忙しく、時間がなかったから」が1位であるが、比較的低い選挙では、「適切な候補者がいなかったから」が1位である。

#### 40歳代の「投票棄権理由」の変遷

衆院選	H8.10.20	H12.6.25	H15.11.9	H17.9.11	H21.8.30	H24.12.16	H26.12.14
1	適切な候補者がいなかったから 36.8	仕事が忙しく、時間がなかったから 42.9	適切な候補者がいなかったから 37.1	仕事が忙しく、時間がなかったから 33.3	仕事が忙しく、時間がなかったから 35.9	仕事が忙しく、時間がなかったから 40.0	適切な候補者がいなかったから 37.2
2	選挙によって政治や暮らしが良くなるわけではないから 26.3	適切な候補者がいなかったから 28.6	選挙によって政治や暮らしが良くなるわけではないから 37.1	候補者の人柄や政策がわからなかったから 30.0	適切な候補者がいなかったから 27.4	適切な候補者がいなかったから 12.0	仕事が忙しく、時間がなかったから 32.7
3	仕事が忙しく、時間がなかったから 18.4	候補者の人柄や政策がわからなかったから 28.6	仕事が忙しく、時間がなかったから 31.4	適切な候補者がいなかったから 26.7	候補者の人柄や政策がわからなかったから 23.9	政治や選挙には関心がないから 12.0	候補者の人柄や政策がわからなかったから 14.2
投票率	56.54	60.46	58.35	65.59	66.37	62.20	54.36